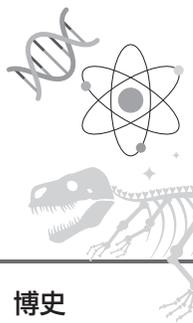


なんだこの見え方は？

—錯視の不思議—



個人出展

青森県黒石市立黒石中学校 鳴海 博史

●どんなステージなの？

人はモノを見るとき「目」を使い「アタマ」で考えます。見えるはずのないモノが見えたとき、「なんだこの見え方は？」となりませんか。実は、そのモノ（絵や映像）に秘密があります。私たちのステージでは、「錯視」の現象をとおして、見え方の不思議を体験できます。

●体験のしかたとコツ

【体験のしかた】

動画やイラストを見て、どのように見えるか「錯視」を体験してみましょう。

- (1)回転する映像を30秒間見てから、自分の手のひらを見るとどのように見えるでしょうか（図1）。
- (2)回転するバレリーナの映像を見つづけていると、急に回転する方向が変わって見えることがあります（図2）。
- (3)赤いはん点のボードを30秒間見てから、そのあとうらの白いボードを見ます（図3）。どのように見えるでしょうか。
- (4)2つの動物のイラストをカラーグラデーションボード上で移動させると、どのように見えるでしょうか。
- (5)左右どちらの色が濃いですか（図4）。
- (6)立体はどんな形をしているでしょうか。
- (7)お面があなたの顔を追いかけられるように見えます。
- (8)白黒のボードを30秒間見てから、そのあとまわりの壁を見ます。どのように見えるでしょうか。



図1

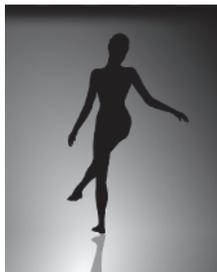


図2

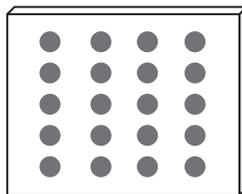


図3

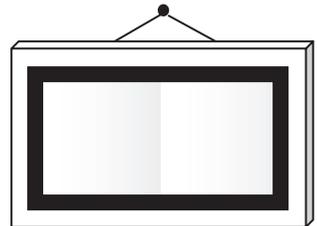


図4

●気をつけよう

やりすぎると、目と頭が疲れてしまうので注意してください。また、立って体験するときは、安全な場所で行ってください。

●もっとくわしく知るために

- ・北岡明佳 著：「おもしろサイエンス 錯視の科学」日刊工業新聞社（2017）
- ・杉原厚吉 監修：「鏡で変身!ふしぎ立体セット」東京書籍（2019）